



学校だより

# 加戸の丘 R4

教育目標「よく学び よく働き よく遊ぶ」

坂井市立加戸小学校

第10号

令和5年3月3日

【学校評価特集】

朝、子どもたちを迎えるときに必要だった、ネックウォーマーやニット帽を着用しなくてもいい日が多くなってきました。少しずつ増してきた暖かさを校地内の草木もしっかりと受け取っていて、さくらの木は蕾をふくらませ始め、グラウンドにも緑がちらほらと…。春らしい日が、日を追う毎に多くなってきますね。中学校の入学説明会、小学校の新1年生との交流会と、来年度への準備も始まっています。あっという間に過ぎていくこの時期だからこそ、一日一日を大切に、今年度のまとめをしていきたいと思えます。

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。同じ時期に、児童アンケート、教職員アンケートも実施し、集計・検討を行いました。また、家庭・地域・学校協議会で委員の皆様からもご意見を頂戴しました。学校評価書にまとめ、今後の学校教育活動に生かして参ります。

## アンケート(保護者、児童、教職員)、学校関係者評価より



### 確かな学力の育成

学習活動に関して「タブレットを使って学習を広めたり深めたりするのが楽しい」と感じている児童が97%、「わかる授業作りに努めている」と感じている保護者が99%など、目標を大きく上回っています。ICTの活用頻度がさらに多くなって内容も広がり、楽しく授業を受けることができたことが成果につながったと考えています。次年度も引き続き、タブレットを活用していきたいと思えます。しかし、「学習課題を解決するためによく考えている」と感じている児童は前期と比較して横ばいで、児童自身が考え、判断し、表現することが課題となっています。対話活動やグループ活動などの機会を増やし、学習のゴールを教員と児童で共有しながら、児童自らのやり方で解決方法を考えていく授業づくりを進めて参ります。

### 豊かな心の育成

魅力ある学校づくりの推進(居心地のよい学級づくり・集団づくりの推進)の項目で、「学校での生活が楽しい」と回答した児童は93%、「子どもは、楽しく学校生活を送っていると感じる」と回答した保護者の方は98%でした。しかし、わずかでも「楽しくない」と感じている児童がいる点を重く受け止めています。教育相談の時間の充実や学校カウンセラーの活用、教科学習や体験活動の場での居場所作り等、問題の予防と早期発見に努めて参ります。「相手の気持ちを考えて行動している」と回答した児童が1ポイント目標を下回りました。生活場面を取り上げた声かけを継続的に行うとともに、道徳や学活の時間を活用して、人権感覚を高めて参ります。



### 健やかな体の育成

「早寝・早起き・朝ご飯」の実践は、児童・保護者とも目標を大きく上回り、A評価も増加しています。また、体力アップに関して「体育や体力アップに一生懸命取り組んでいる」と回答する児童が95%と目標を15ポイント上回りました。コロナ禍を経て、健康であることの意識の高まったことと運動に取り組める範囲と環境が整ってきたことが要因と考えられます。今後も油断することなく、危機感をもって感染予防に取り組んで参ります。「テレビ、ゲーム、SNSの時間を決めて生活している」については目標を下回っている部分もありますが、スマートルールの継続やデジタルシティズンシップ教育の推進で改善傾向にあります。さらに、取り組み内容や目的の見直しをして、家庭と学校の協働を進めて参ります。

### 開かれた学校づくり

今年度は、コロナの影響で制限もありましたが、学校公開などで子どもたちの活動の様子を見ていただける機会を増やせました。実際に生の様子を見ていただくことが一番よいのですが、コロナ禍のいい意味での副産物、保護者の方が間接的にでも見られるような工夫、動画配信等にできる限り努めて参ります。また、学年便りや学校便り、HPの情報発信を充実させるとともに、学校のことを家庭で話をする取組等の工夫をして参ります。

## 保護者アンケート(記述より)

熱心に、こちらの声に耳をかたむけてくれるので、とても信頼できます。

先生方には子どものことをよく見ていただきフォローしていただいていると思っております。

わからないところなどあるとすぐに対応していただけます。

子どもから、担任の先生以外の話も出たりするので、学校ぐるみで、子どもたちを見守ってもらっていると感じます。

いろいろな工夫をして授業をしてくださってありがとうございます。

楽しく学校に行き、様々なことを経験させていただき、感謝しています。



感染対策の大変な中、子どもを元気に過ごさせてくださり、ありがとうございます。私たちも対策を講じながら、家族元気に過ごせるようつとめたいと思います。

友人同士の関係が多様化して難しい年頃になってきますが、しっかり対応してくださっていると思います。

学校で何かあれば電話してくださったり、不明なことや心配なことがあれば、じっくり聞いてくださったりするので、とてもありがたいです。

お友達とのふれ合う時間や自由に遊べる時間がなく、学校が楽しくないと感じているようです。家では学校のできごとを話して教えてくれます。

お友達との休み時間のふれ合い等が少なく、楽しくないと感じているようです。



→今後もある程度の感染対策は続くと思われませんが、体験活動や休み時間など、児童がふれあう機会を増やしていくことが今後の課題です。状況に応じて、適切な対応をしていきます。

授業参観の機会も減っている中、タブレットの利用で授業風景を感じ取れる機会がありました。とてもよい雰囲気です。授業が進められているんだと感じられました。タブレットの利用がよいのかはわかりませんが…。時代の流れにはさからえませんが。コロナでなくても普及されていく時代なんですよね。

タブレットの持ち帰りですが、土日は平日よりもメディア時間が増えるので、持ち帰りをしなくてもいいかなと思います。視力の低下が心配です。

学校のタブレットを家で使うと、交信に時間がかかるようです。けれど楽しんで課題はしているようです。

TV、YouTubeが身近すぎてなかなか離すことが難しいです。

→タブレットの持ち帰りについて、持ち帰り頻度や課題内容、持ち帰るその他の教材(重量が関係するので)など、どのようにするのが適正で効果があるのか見極めることが課題です。試行錯誤しながらの実践となります。ご承知おきください。また、メディア利用時間の考え方について、デジタルシティズンシップ教育を進めて参ります。

HPを毎日更新していただき、本当にありがたいです。学校での活動がとてもよくわかります。

いつもホームページの学校ウォッチングも楽しみに見えています。

授業参観に行ける日、コロナ禍になり行けない日等、授業内容にかかわらず、ライブ配信で観覧できるようにしてほしいです。

学年だよりに写真を載せてくださいますが、お金を出してもよいので、カラーがよいです。

→表面「開かれた学校づくり」でも記載しましたが、実際に生の様子を見ていただくことが一番よいと考えています。しかし、コロナ禍のいい意味での副産物、保護者の方が間接的にでも見られるような工夫、動画配信等にできる限り努めて参ります。紙媒体の学年だよりに掲載している写真をカラーにするのは、難しいです。学年だよりをHPなど電子媒体で見られるように取り組みを進めて参ります。

誌面の関係上、まとめて記述しています。課題、要望等について、検討し改善に努めて参ります。